

令和5年度 施設の自己評価について

～保育者の施設評価～

- ・他クラスの補助に入る事が多く、ノートの書き方など言葉選び伝え方を気を付けた。
- ・保護者対応でそれぞれの環境、仕事、性格などその対応は難しい。
- ・情緒不安定の保護者の対応で日頃からのコミュニケーションを心掛けた。子ども自身にも愛情を感じられるよう心掛けたが、保護者対応の難しさを痛感したのでしっかり学んでいきたい。
- ・同じクラスでフォローし合える関係の素晴らしさ。保育士自身の心が安定し良い保育へ繋がる。
- ・保育の難しさを感じながらも一人一人の良い所を見つけられると保育の楽しさを感じ、頑張ろうと思えた。子ども達が主体となれるような関りをしたい。
- ・気になるこの子に対し担任のみでなく共有できるような場や時間の必要性。働きやすい環境が不適切保育を防ぐ。
- ・やれる事から進めていく。子どもへの固定概念があるのでもっと良い所を見つける努力。保護者へも一言今日の出来事を伝えらるるようにしたい。
- ・子ども達一人一人の成長を肌で感じる場面が多かった。当たり前を見直す機会として取り組む。
- ・様々な保育園の問題がある中で“うちは大丈夫”と捉えないように注意したい。仕事の内容を改善する中でも保護者の不信感には繋がらないように注意したい。
- ・担当児にそれぞれの個性がある中、なかなかねらい通りの保育が提供が出来なかった。大きな声を出すことが不適切保育と報道される中どうすればいいかわからない。
- ・他のクラスに入る事でいつもとは違う子ども一人一人の姿が見れて良かった。丁寧にに関わり園生活は楽しいものだと伝えられるよう努力。
- ・遊びの中から学ぶ大切さを実感した。様々な遊びがある中で充実出来るよう把握していきたい。
- ・子ども一人一人のペースに合わせてあげたくても難しく対応の仕方を考えさせられる。
- ・保護者対応で簡潔に分かりやすく伝える難しさを学ぶ。「子どもと関わる事が1番大切な保育士としての仕事」「報告、連絡、相談」がとても大切と再確認。
- ・保育に“慣れ”“手抜き”はいけない。「今」の成長に向き合い「出来た事」の喜びを共有する事で信頼関係が築ける。
- ・愛着関係を大切にしたい。要求に対しても気持ちに寄り添い丁寧に。触れ合う事で安心感や親しみを持ち愛着関係を育めた。今後も大切にしていきたい。
- ・子どもに対する対応や言い方など状況によっては難しいが意識的に気を付けたい。落ち着いて遊べる環境を整える為に職員間での話し合いがあってもいいのではないかな。
- ・泣いてしまう子に対しても自分なりにコミュニケーションを取り心を開いてもらえるように努めた。今後もクラスのフォローに入ると思うので連携を大切にしたい。

～栄養士の施設評価～

- ・りんごを食べて窒息するという事故。この事故から学び今後活かす。日頃から情報に耳を傾け今までは大丈夫だったからという考えを改めて知識を深めていきたい。
- ・焦って作業すると事故に繋がるので事前の作業確認や情報共有し作業したい。窒息の事故から今一度発達に応じた食事なのか食材の大きさは適切かを考え直し事故防止にしたい。

以上、保育士や栄養士からの施設の評価。これらの意見・評価を元に改善や向上を目指していきたい。